

2017 年度  
第 48 回 北海道学生アーチェリー  
個人選手権大会  
実施仮要綱



日時 2016 年 8 月 19・20 日

場所 北海道科学大学ラグビー場  
特設アーチェリーレンジ

主催 北海道学生アーチェリー連盟

## 大会役員

大会会長	松木 けんこう
大会副会長	伊藤 献一
大会参与	伊藤 献一
大会委員長	辻 友穂
大会副委員長	金子 拓実
大会総務	内山 心夢
審判部	高木 洋旗
大会記録	馬場 塔子
大会財務	森明 竜馬
大会技術	内山 心夢
報道写真	氷見谷 馨
資材管理	長谷川 俊介
大会進行	高橋 由也

## 競技役員

審判長	倉知 敏博
DOS	内山 心夢
競技委員長	高木 洋旗
審判員	競技係員
放送	競技係員
計時	競技係員
記録補助員	記録係員

## タイムスケジュール(予定)

### ○予選オープンラウンド

選手集合	8 : 20	行射 (70m①)	9 : 50
受付	8 : 30	昼食(補充込み)	12 : 50
開会式	8 : 45	行射 (70m②)	13 : 45
用具検査	8 : 55	記録発表	16 : 35
試射	9 : 20		

○2日目 男子決勝ラウンド1回戦 (各グループの対戦は30分)

(フリープラクティスは9:50～)

受付	9:30	女子決勝	15:35
DOS 注意及び		男子決勝	16:00
用具検査	9:40	(*注意17 参照)	
		閉会式	16:30
男子一回戦			
AB グループ	10:15		
CD グループ	11:50		
男子二回戦	12:25		
昼食	13:00		
男子準々決勝、女子一回戦	13:45		
男子、女子準決勝	14:20		
男子、女子三位決定戦	14:55		

## 式次第

—開会式—

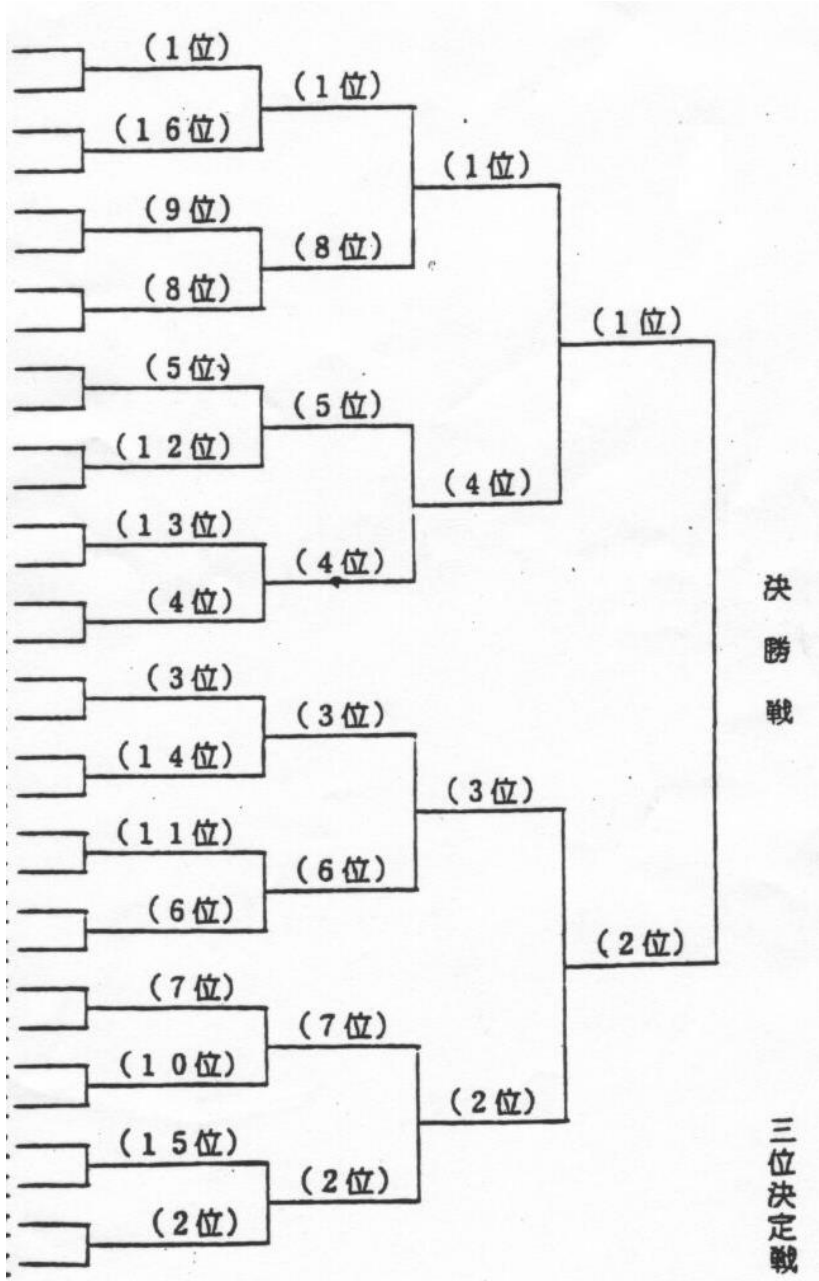
1. 選手整列
2. 開会宣言
3. 国旗連盟旗掲揚
4. 大会会長挨拶
5. 大会委員長挨拶
6. 競技委員長挨拶
7. DOS 注意
8. 選手宣誓
9. 選手解散

—閉会式—

1. 選手整列
2. 成績発表
3. 表彰
4. 大会副会長挨拶
5. 大会副委員長挨拶
6. 国旗連盟旗後納
7. 大会講評
8. 閉会宣言
9. 選手解散

## ！競技方法及び競技上の諸注意！

1. 競技方法は、予選では70w ラウンド。決勝ではセットシステムを採用する。
2. 競技は全日本アーチェリー連盟競技規約により行う。
3. 選手の受付は、2015年度北海道学生アーチェリー連盟会員証により行う。
4. 今大会ではインカレ、AJSAF CUP 出場選手の選考を行う。
5. 表彰は男女各1～3位、各距離賞の表彰を行う。
6. 用具検査は開会式または射場長注意終了後その場で行うので、用具を持って整列すること。
7. 競技の合図はブザー、信号を使用する。
8. 予選オープンラウンドの行射時間は6射4分とする。
9. 決勝ラウンド1/32～三位決定戦は全対戦一斉射ち。3射2分を1セットとし、5セットのセットシステムを行う。1セット毎に3射の合計点で競い、勝者には2ポイント。敗者は0ポイント。引き分けなら1ポイントずつ。6ポイントを取った選手が勝利となり、その対戦は終了する。5セット終了後に同点の場合、1射40秒のシュートオフを行う。
10. 決勝戦は1射20秒を交互射ちで3射を1セットとし、5セット行う。第1セットの行射順は予選ラウンドの上位者が選択し決定する。2セット目以降は、前のエンドまでの累計ポイントの低い選手が先行となる。両者が同点の場合は、第1セットの先行の選手が先に行射する。1セット毎に3射の合計点で競い、勝者には2ポイント。敗者は0ポイント。引き分けなら1ポイントずつ。6ポイントを取った選手が勝利となり、その対戦は終了する。5エンド終了時点で同点の場合、1射20秒のシュートオフを行う。
11. 決勝での組み合わせは、予選の順位によって図（最終ページ）のようになる。
12. 的中孔は全標的について採用する。
13. 射場内は全面的に食、喫煙を禁止する。また、射場外の芝生には立ち入りを禁止する。
14. 集合時間を厳守すること、遅刻は棄権とみなす。また、回収は速やかに行ってください。
15. 用具破損の修復時間は15分とする。
16. 競技規則を通読し、無用なトラブルを避けましょう。
17. 参加費は3000円とする。
18. 時間の都合上、男子女子の決勝戦を同時に行う場合があります。



1回戦 2回戦 準々決勝戦 準決勝戦 決勝戦  
 1、2回戦の対戦 決勝ラウンドの対戦